

【如月の日向の道を散歩して サニーサイドを思い出すとき】

NHK 朝ドラ「カムカムエヴリバディ」の挿入歌とも言えるべき曲を聴きながら、いろいろと思い出した。ドラマの中では喫茶店主が熱唱もしていた曲だ。



♪ Grab your coat and get your hat

Leave your worries on the doorstep

Just direct your feet To the sunny side of the street

(心配事は玄関に置いて、コートと帽子を手にとって通りの日向を歩こう)

この歌詞を初めて覚えたのは1965年中学2年になった頃だ。

英語の勉強には英語の歌を覚えなきゃだめなんだよ、と洋楽レコードを買う小遣いをねだって買ったレコードのB面の曲だった。ジャズの名曲という知識は無く只ひたすら歌詞を追いながら覚えた。

A面は橋幸夫やビートルズと同じくらい好きだったジョニー・ティロットソンのバラード「恋のウルトラ」。1964年の東京五輪の後だからやはり言葉になったウルトラCをつけたんだろう。安直な気がして笑ってしまう。



朝ドラの挿入歌「明るい表通りで (On the sunny side of the street)」は、ドラマの進展に沿って、ずっとながれ続けていた。散歩しながら、中学生の頃の気分を味わいつつ口ずさんでいたら、またまた思い出した。

小中学校の同学年生が長崎の銅座町（長崎には銀座はないが、銅座と銭座がある！）でオープンしている店の名前が「サニーサイド」だよ、と。

たしか小学校の同窓会の後に店に行った。その後も帰省の折に機会があれば何回か通った。伴奏をつけて貰って歌った覚えもある。その時の曲は店名の「サニーサイド」に合わせて「明るい表通りで」だったんじゃないかな。そんな事を振り返りつつ、名刺を探してみると裏にちゃんと店名が書かれたものが出てきた。これぞ今に繋がる天命かも・・・なんて笑ってしまう。

1993年7月10日に歌った写真も出てきた。30年程も前なので髪の毛もかなり残っているなあ。

という次第で・・・メールを送ったところ

「僕は元気です。どっちかというところが大変じゃない？」と返事が届いた。元気で良かった。

次回帰省の折には是非立ち寄って「サニーサイド」談義をサイド（再度）したくなっているこの頃である。



幾たびかサニーサイドは訪ねたり

再度行こうと思うこのごろ

長崎に銀座はないが銅座あり サニーサイドをどうぞよろしく

長崎は金銀はなく銅と銭 それでつましく暮らしてる街

参考付録 ウィキペディア他から

1. 「明るい表通りで」(*On the Sunny Side of the Street*)

ジミー・マクヒュー作曲、ドロシー・フィールズ作詞の1930年の曲。ハリー・リッチマンとガートルード・ローレンスが主演したブロードウェイのミュージカル『ルー・レスリーのインターナショナル・レビュー (*Lew Leslie's International Revue*)』で最初に紹介された。

その後、ジャズのスタンダード・ナンバーとなり、テッド・ルイス、デイヴ・ブルーベック、アール・ハインズ、ルイ・アームストロング、ベニー・グッドマン、ライオネル・ハンプトン、エロル・ガーナー、ディジー・ガレスピー、アート・テイタム、カウント・ベイシーといったジャズの巨人たちによって録音が残された。

1938年10月、ファッツ・ウォーラーと彼のリズム (*Fats Waller and His Rhythm*) が、ルイ・アームストロング、ジャック・ティガーデンと一緒に、マーティン・ブロックのラジオ番組『メイク・ビリーヴ・ボールルーム (*Make Believe Ballroom*)』でこの曲を演奏。このバージョンは、1981年に発売されたアルバム『*Striding in Dixieland*』(FW02816)に収録されている。

フランキー・レイン、ダイナ・ワシントン、エラ・フィッツジェラルド、ジュディ・ガーランド、キーリー・スミス、ナット・キング・コール、ジョー・スタッフィード、フランク・シナトラら名だたる歌手がこの曲を録音している。

*1965年2月、日本発売のジョニー・ティロットソン「恋のウルトラC」のB面で野本は初めて知りました。

*カムカムエヴリバディ (連続テレビ小説) - 物語の軸としてルイ・アームストロングが歌唱する本曲が登場する。

歌詞：

Grab your coat and get your hat
Leave your worries on the doorstep
Just direct your feet
To the sunny side of the street

Can't you hear a pitter-pat?
And that happy tune is your step
Life can be so sweet
On the sunny side of the street

I used to walk in the shade
With those blues on parade
But I'm not afraid
This Rover crossed over

If I never have a cent
I'll be rich as Rockefeller
Gold dust at my feet
On the sunny side of the street